

Hakuai-communications

博愛

博愛会と地域の
みなさまをつなぐ
コミュニティツール

2008.
October
Vol.13

夢だより

地域に愛され
信頼され……
地域とともに
歩み続けます



野口 幸子さん(福岡市中央区)



医療法人財団 博愛会

Medical association hakuikai group

地域に密着し、住民に信頼される
保健・医療・福祉サービスを目指します。

with the
philanthropical community

財団全体の舵取りとして地域医療に貢献していきます

いつしか猛夏も去り、秋もたけなわの頃を迎えました。大地の豊穡を心ゆくまで堪能したい季節ですが、昨今の食への不信は、そんな思いも吹き飛ばしてしまう程に暮る一方で、まったく憂うべき時代となりました。

1日も早く食への信頼が回復し、安心して食卓につける日がくることを願ってやみません。

さて、日頃皆さまにご愛顧いただいております「博愛夢だより」ですが、この場をお借りして院長退任のご挨拶を申し上げたいと存じます。

この10月をもちまして、私は院長を退任し、林隆一副院長が新院長に就任いたします。

思えば平成14年4月に院長に就任してからはや6年半。

院内、院外の多くの皆さま方に助けられ無事に職務を全うすることができました。

皆さま方のお力添えに心より御礼申し上げます。

この6年半を思い返しますと、さまざまな思い出が臉によみがえります。

厳しい医療情勢を反映し数々の困難に直面もいたしました。職員皆と苦楽を分かち、泣いたり笑ったりと決して忘れぬ日々を過ごすことができました。

しかしながら、時の流れは感傷に浸る間もなく押し寄せて参ります。

これからは林新院長を中心に、博愛会病院の新しい歴史が刻まれていくこと期待しております。

今後は理事長として、財団全体の舵取りに粉骨砕身いたしたく存じます。

皆さま方におかれましては、今後ともどうか変わらぬご支援ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事長 那須 繁

地域に根ざした病院を目指します

10月1日より、博愛会病院院長の任を拝命しました。

私は博愛会病院に1999年4月に就職し、内科・消化器科医、診療部長、副院長として、病院の理念である「日本一患者さんに優しい病院を目指す」に共感し働き、丸10年が経ちました。その気持ちは今でも変わりませんが、この10年の間、医療費削減に伴う医療制度改革や診療報酬改定により閉院に追い込まれる病院、また深刻化する医師・看護師不足、救急医療現場の混乱など病院を取り巻く環境は年々厳しく変化しています。

医療崩壊が叫ばれているこの時期、皆さんの中には院長になるのは大変ではと思われている方も多いかも知れませんが、私は院長に推薦していただいた那須理事長・前院長の送る熱い想いを引き継ぎ、職員とともに今一度医療人として医療の原点に還り、新しい体制で病院の舵取りをして、質の高い、患者さまの満足を得られる医療、地域に根ざした病院を目指したいと思います。

院長 林 隆 一

博愛会地域リハビリテーションセンター

Vigor Club 【ヴィガークラブ】

明るく元気に
楽しくリハビリを



診療報酬改定により、リハビリテーションの回数制限が定められ、医療保険下でのリハビリテーションに制約がかかるようになりました。そこで、身体機能の向上、維持のため、継続的なリハビリテーションが受けられるように、介護保険に基づく通所リハビリテーションを開設することになりました。

介護保険下でも充実したリハビリテーションを提供するため、サービス内容は機能訓練に特化し、入浴・食事・レクリエーションなどのサービスは行っていません。博愛会グループでは、既存の老健センターささおか通所リハビリテーションとデイサービスセンター草ヶ江も含め、在宅生活する方々のニーズに合ったリハビリサービスを提供していきたいと考えています。

センター長 村田 祥子

【ヴィガークラブ】

Vigor(ヴィガー)とは、強い体力・精神力・元気という意味。ご利用者さまがリハビリを通じて、いきいきとした元気いっぱいの人生を力強く歩み続けていただきたいという想いでVigor Club(ヴィガークラブ)と名づけました。

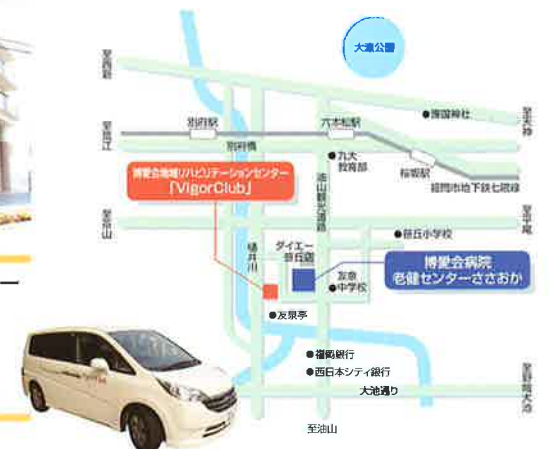
機能訓練に特化した通所リハビリテーション施設

- PT(理学療法士)、OT(作業療法士)によるご利用者さまのニーズに合わせた個別訓練・指導
- 目的に応じた個々の筋肉を強化するマシントレーニング
- 力の弱い方でもウェイト(負荷)を調整できる無理のないトレーニング
- 体組成計で筋肉量・脂肪量を測り、定期的に効果を測定
- ご利用者さまが主体的に取り組める環境づくりに努めています。



博愛会地域リハビリテーションセンター
「VigorClub」

福岡市中央区笹丘1-25-7
フィランレイユ笹丘1F(博愛会病院南側)
TEL:092-737-7601 FAX:092-737-7602



3時間コース

※2時間コースもありです

いきいきとした生活 元気いっぱいの人生を力強く歩み続けていただけるよう 支援していきます

運動器機能向上計画書 ○脳梗塞で左半身麻痺の患者さまプログラム例○

1ヵ月後の目標

下肢筋力の向上、自主訓練の獲得
自宅でもストレッチなどの訓練を行えるようになる

2ヵ月後の目標

歩行時のバランス能力の向上
片脚立ち 右側 20秒以上
左側 1秒以上

3ヵ月後の目標

麻痺側における
バランス能力の向上
1人でバスに乗れるようになる

最終目標

1人でバスで天神に行き、
買い物ができるようになる！

ご利用者さまの身体能力評価を行ったうえでプログラムを作成し、一人ひとりの身体特性に合った機能訓練にて快適・安全に身体能力の向上を図ります。
ヴィガークラブ最高齢のご利用者さまは、なんと91歳！ 高齢であっても、運動機能訓練を行うことで筋肉増強効果が上がります。

マシン紹介



ラボードXP

日常生活の中で一番よく使う歩行に必要な筋肉を鍛えます。

ジョーバ(ローリング運動)
揺れるシートの上でバランスをとることで、ふくらはぎから太もも、腰回りの筋肉を鍛えます。



コードレスバイク

ペダルをこぐと、その時間に応じて消費したエネルギーを食べ物や飲み物に換算して表示してくれます。



1時間目メニュー

- ウォーミングアップ
- バイタルチェック

まずは体をほぐし、血圧測定などのバイタルチェック！無理のないリハビリをするために、大切な時間です。
※各訓練後は5分程度の休憩をとります。

2時間目メニュー

- 全身調整訓練
- 筋肉増強訓練
- 日常生活訓練

いよいよリハビリスタート。各種マシンは力の弱い方でも負荷を調節できますので、無理のないトレーニングが可能です。理学療法士・作業療法士による指導のもと、適切な訓練を行います。

3時間目メニュー

- 自主訓練
- クールダウン
- 整理体操

最後は利用者さまのニーズに応じた個別訓練と、クールダウン・整理体操です。
お疲れさまでした！

腹直筋をきたえるには…

姿勢・猫背の改善
【ローイング / チェストプレス】
グリップを引く動作で腕を曲げ、押す動作で腕を伸ばします。

上腕二頭筋をきたえるには…

排泄動作の改善・歩行動作の安定
【ヒップアダクション / アブダクション】
パッドを内側に押す動作で足を閉じ、外側に押す動作で足を開きます。

股関節外転筋をきたえるには…

歩行・階段昇降動作の改善
【レッグエクステンション / フレクション】
足パッドを上げる動作で膝を伸ばし、下げる動作で膝を曲げます。

起き上がり・立ち上がり動作の改善
【トーンエクステンション / フレクション】
胸パッドを引く動作で体を起こし、押す動作で体を曲げます。

立つ・座る・歩く動作の改善
【レッグプレス】
フットプレートを押す動作で足を伸ばします。

大殿筋をきたえるには…

大腿四頭筋をきたえるには…



自主トレにおすすめ！
大画面スクリーンを見ながら自主トレーニング。自分のペースで頑張りましょう。



ゆったりクールダウン
トレーニングが終わった後は、ミーティングルームでリラックス。他の利用者さまとの交流にもどうぞ。

医務室 安心・安全なトレーニングをしていただくために

トレーニングに集中するあまり、ついつい頑張りが過ぎてしまった…。そんなときでもちゃんと医務室が完備されているので大丈夫です。トレーニング中の体調に関するご相談もお気軽にどうぞ。

Vigor Club 無料体験受付中

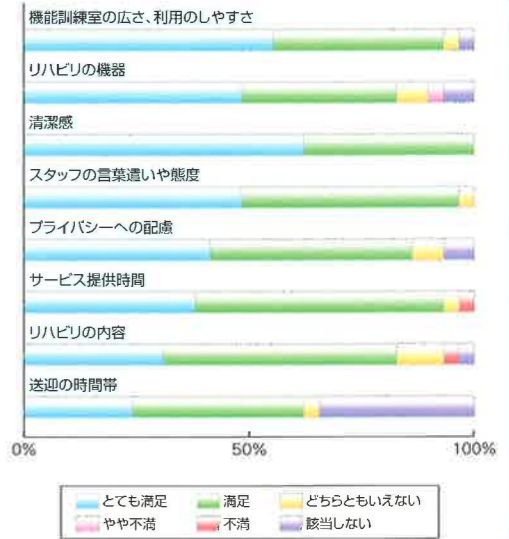
実際、どのようなトレーニングを行うのか無料体験を受け付けています。ご希望の方は下記までご連絡ください。

TEL 092-737-7601

アンケート調査

今後のより良いサービスを提供していくため、ご利用者さまへのアンケート調査を行いました。ご利用者さまの貴重な意見を参考に問題点の改善や満足度の向上に役立てていきたいと思っております。

ヴィガークラブご利用者さまの満足度



ご利用者さまの声

奈良 和洋さん

「ヴィガークラブ」が平成20年3月にオープンした当初より利用させていただいています。

私は平成19年7月に右脳血管破裂で出血し、左半身完全麻痺となりました。博愛会病院に入院してリハビリルームで指導を受け、車椅子なしで杖をついて歩けるまで回復（左腕は胸の高さまで上げるのが精一杯で、指は完全に麻痺したまま）し、11月に退院して外来リハビリを続けていました。

しかし平成20年2月末に医療保険下でのリハビリ算定日数を超過してしまい、博愛会病院での外来リハビリができなくなりつつありました。そのため介護保険適用の他施設を探さざるを得なく、脳も体も精神状態もまだ回復していない状態で、慣れない施設でのリハビリ開始に毎日不安を抱えて過ごしていました。

そんな折の「ヴィガークラブ」オープンだったので「ここは私のために創っていただいた施設だ」と勝手に思い込んで、週2回利用するたびに感謝しながらリハビリに励んでいます。

健康時に「フィットネスジムに通いマシンを使って体を鍛えてみたい」と願望を持っていましたが、現在の真新しいマシンを使うリハビリに気分はウキウキし、本当に楽しくあつと3時間が過ぎてしまいます。

「腹筋が割れるようになるぞ」と体を折り曲げ鍛えるトーンエクステンション（腹筋マシン）、「左足の太ももに逞しい筋肉をつけるぞ」と左片足でユックリと伸ばし戻すレッグプレス、力を入れてゆっくり開脚しそのまま力を抜かず脚を戻すというヒップアダクション（開脚マシン）、ひたすらペダルを踏み続けると消費したカロリーに該当する食べ物や飲み物が液晶画面に出るバイク（自転車）などの楽しいマシンがあり、ケアワーカーの方々が各人のリハビリ状況を細かく見守っていて、変化にすぐ対応していただけます。運動が速くて無理をしていないか、適正な荷重かなど、各人の状況に応じたきめの細かい指導を受けることができます。

「ヴィガークラブ」で「ワクワクする楽しいリハビリ」を続け、「今年末までに左足の機能を回復し、スタスタと歩けるようになるぞ」、さらに「来年末までには左手を真直ぐに上にあげる事ができ、指もグーパーができるようになるぞ」と、ひたすら自分の体を目標に近づけているつもりです。

私には関係のない病気だと 思っていないか…「乳がん」

日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると推計されています。乳がんは女性のかかるがんの第1位であり、30歳から65歳までの青壮年層の死亡率第1位となっています。特に40歳代で乳がんを発症する方が急増しており、原因としてはライフスタイルの変化に伴う、ホルモン環境の変化が大きいと言われています。初潮が早くなり、閉経が遅くなったため、エストロゲンというホルモンに暴露される時間が長くなり、結果として乳がんにかかる女性が増えているのです。

博愛会で乳がん検診を 受けてみませんか？

博愛会病院で推奨している乳がん検診です。
「視触診」「マンモグラフィ」「超音波」を行うことで
より多くの乳がんを発見できる可能性があります。

内容	検診日	料金
視触診 マンモグラフィ 超音波	月・火・木・土	9,450円
結果		
1週間ほどかかります 毎週金曜日、複数の読影認定医による合議の場で 最終診断を決定したのち、郵送いたします		



超音波検査

マンモグラフィ

乳がんは
早期に発見し適切な治療を受ければ
多くの場合治ります

Breast Medical Team

副院長・乳腺外科部長 渡邊 良二

診療部長・外科部長 森 寿治

外科医員 深水 康吉

放射線科部長 稲村 篤子

新任ドクター 中島 裕一

Newly 2008.10.1
医師となり今年で15年目を迎えました。地元・島根を飛び出しての初の遠方での従事となりますし、また都会の地での勤務も初めてとなります。最初は言葉の遣いや不慣れな面から戸惑うこともあるかもしれませんが、どなたからも気軽に声をかけていただける、また、安心して治療を受けていただけるよう、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

博愛会病院 乳がん検診お問い合わせ先 : TEL 092-741-2637 (予約専用)

「J-START」研究への参加施設に選ばれました!

乳がん検診に利用される、マンモグラフィは、乳房が比較的大きく乳腺密度の低い欧米女性向けに開発された歴史があることから、比較的乳房が小さい日本人女性においては、特に50歳以下で乳がんの検出感度が低いという問題が生じています。そのためJ-STARTでは、40歳代日本人女性における最適な乳がん検診の方法を検討することとなりました。当院は、マンモグラフィ検査および超音波検査における一定水準レベルをクリアした施設として、この多施設ランダム化比較試験(J-START)に参画する施設に選ばれました。福岡市に在住の40歳代の方で興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



J-START (厚生労働科学研究～第3次対がん総合戦略研究事業～「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」)

<http://www.j-start.org/>
福岡市でもスタート!

TOPICS



ウェルネス天神 橋本俊彦所長紹介 4月1日

4月1日付けでウェルネス天神の所長に就任しました。昭和30年生まれ、大分県大分郡野津原町（現在は大分市に合併）出身です。野津原は今でも空気のきれいなのんびりした田舎町で、隣保班が存在し、事あるときには皆で助け合うという気持ちがまだ残っている土地柄です。大学浪人のために18歳のときに故郷を離れて以来、ずっと福岡に住んでおります。昭和55年に九州大学を卒業し、同大学第三内科に入局いたしました。その後いくつかの病院に勤めましたが、なかでもモンリオール留学の2年間は最も楽しい思い出で、博愛会就職前は福岡市民病院に勤務しておりました。専門は内分泌・代謝・糖尿病です。今後はスタッフと一緒に糖尿病診療に一所懸命に取り組んでいきます。ご支援の程よろしく申し上げます。

ふれあい看護体験 5月17日

当院では5月17日にふれあい看護体験を行い、近隣の高校生9名が参加いたしました。将来看護師を目指している学生も多く、初めての白衣に身を包んだ体験者たちは期待と不安でいっぱいでした。病棟と老健センターに分かれて、実際に患者さまご利用者さまの生活・食事援助や移送介助などの体験してもらい、学校ではできない貴重な体験ができたとお手紙もいただいています。学生たちは「看護」という漢字の意味を考えながら「目で見て・手で触って」、笑顔で患者さまに接するよう心がけ、患者さまとの信頼関係や看護という職務の責任の重さなどを学んだようです。21世紀の高齢社会を支えていくためには、このような看護の心・助け合いの心を私たち一人ひとりがわかち合うことが必要だと思いました。



「介護サービス評価ふくおか」認証受領

介護保険の第三者評価にあたる「介護サービス評価センターふくおか」を、6月23日に「博愛訪問看護ステーションささおか」が、6月27日には「老健センターささおか」がそれぞれ受審し、7月に認証を受けることができました。これで、両事業所ともに3回目の認証を受けたことになります。今回の評価を受けたことで、現状の介護サービスの内容を把握することができ、これらを分析することで、介護サービスの質の向上につながります。「認証」を受けた事業所の情報は、「介護サービス評価センターふくおか」のホームページや、各区役所の介護保険課の窓口などで確認ができます。是非ご利用ください。今後も、ご利用者さまのニーズに対応し、満足できるサービス提供をしてまいります。



デイサービスセンター草ヶ江 第5回 作陶展開催 会場：フィランソレイユ笹丘 6月22日～7月3日

梅雨の時節に「さわやかな力と風を届けよう!」を合言葉に、デイサービスセンター草ヶ江第5回作陶展を開催いたしました。今回の会場は、今年3月にオープンしたばかりの有料老人ホーム「フィランソレイユ笹丘」のエントランスホール。真新しく、開放的で異国情緒あふれる空間です。作陶されたご本人はもとより、そのご家族・ケアマネジャーの皆さん・地域の皆さんなど、たくさんの方々にご覧いただきました。「第5回」と聞いて「ベテランになった」気分になり、いつもと違った展示会場に「自分の作品が3割は良く」見え、作陶展開催記念にといただいた写真を見ては「国宝級の扱いを受けている」ように見える…何とも目出度く、ほくほくご満悦の作陶家の皆さん。“至誠、天に通じた?”作陶展となりました。



5階病棟『健康教室』

従来、5階病棟では入院中の患者さまの気分転換を図る目的で、レクリエーション（ゲームや歌など）を月1回、行ってまいりました。しかし、回復期リハビリテーション病棟として、患者さまのニーズによりお応えするために、平成18年度より、『健康教室』と名を変えて、2ヵ月に1回、再発、合併症の予防に力を入れた勉強会を実施しております。病棟医長の野田医師を始め、看護・介護スタッフ、リハビリスタッフ、医療相談員（MSW）、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師が役割分担をし、退院後の生活指導はもちろん、脳卒中中の再発予防、高血圧と食事、自分でできるリハビリテーション、薬の管理、医療相談員の役割等をテーマに講義を行っています。入院中および退院された患者さま、ご家族に参加をいただき、講義だけでなく、実際に身体を動かしながら、わかりやすく楽しんで学んでいただけるように工夫して、ご参加の皆さまからも好評をいただいております。これからも多くの方に、健康に興味を持って日常生活が送れるよう、スタッフの指導レベルアップを図り、脳卒中中の再発、合併症減少を目指していきます。



すこやか…レシピ

豊かな味わいた
素材をいかした

白身魚の蒸し煮 ビネガー風味

1人分…152Kcal

料理を作る際は、野菜や魚・肉の素材を選ぶようにすると、「魚は魚」「ジャガイモはジャガイモ」の旨みをきちんと活かせることができます。すると調味料も少なく済み、素材の旨みも出て、豊かな味わいになります。先日、お魚と野菜をととても美味しくいただけるお料理に出会ったのでご紹介します。



●材料(4人分)

鯛などの白身魚 ……240g
魚のブイヨン* ……360g
ジャガイモ ……200g(5mm幅に輪切り)
玉ねぎ ……150g(スライス)
水菜・サニーレタス ……80g
赤・黄色パプリカ ……20g
フレンチドレッシング ……40cc
オリーブオイル ……適量
塩・胡椒 ……少々

*魚のアラを湯通しして、水・酒を入れ1時間ほど炊いたスープ

●作り方

- ①ジャガイモは別に茹でておく。
- ②なべに玉ねぎを入れて、オリーブオイルで色がつかないように炒め、白身魚・魚のブイヨンを加えて軽く煮込み火を入れる。
- ③魚を取り出し、塩・胡椒で味をととのえる。
- ④ジャガイモをお皿に並べ、その上に魚を盛り付け、さらに野菜をのせてフレンチドレッシングをかける。

老健センターささおか
管理栄養士 中島 悦子

すこやか…体操

メタボ予防は
まず運動から!

“メタボリックシンドローム”とは、内臓脂肪の蓄積によりインスリン抵抗性が起こり、糖代謝異常・脂肪代謝異常・高血圧などの動脈硬化の危険因子が集積している状態です。

メタボの人には筋肉量を増やし基礎代謝量を上げて、脂肪を効率的に燃やすことが大切です。筋肉量が多いと、ちょっとした運動でも脂肪を効率的に燃やすことができます。しかし、筋肉は20歳をピークに少しずつ衰えるのが普通で、何も運動していない人は筋肉量が少なくなり代謝が悪く痩せにくくなるのです。運動をはじめの前後や入浴後にストレッチをする習慣をつけると良いでしょう。ストレッチを続けていくうちに体が柔らかくなり運動時の事故防止ができること、全身の代謝があがり、エネルギー消費量がアップするため痩せやすい体になります。



筋肉量を増やすために自宅で簡単にできる運動として、スクワット・腹筋・背筋・腕立て伏せなど、気が向いた時に1、2回でもやってみてください。弾みをつけず、必要以上に力を入れず一定の呼吸をしながらゆっくり行います。

効率よく内臓脂肪を落とすために有効な酸素運動はウォーキングです。毎日ではなく一日おきでもいいですし、週に3日でも内臓脂肪は確実に燃焼します。仕事の行き帰りに歩いたり、いつも行くスーパーまで少し遠回りするだけでも効果があります。



博愛会病院 5階病棟
理学療法士 濱田 新

博愛会病院(70床)時代(3)



博愛会グループ 会長
那須良昭

story
of Medical association
hakuikai group

樹々の若葉を透して、きらきらと降り注ぐ生命の精気に触れると新たな活力が生成されるのであろうか。若葉の頃は、希いの叶う季節である。

82年5月、無床診療所を創成して以来、博愛会病院(20床)へと移行し、84年4月には、念願の第1次増床(70床)が叶った。博愛会は、性急な沿革を刻み続けるのだった。第1次増床を終えた2年後の86年5月には、社会福祉医療事業団(現在の独立行政法人福祉医療機構)から一層の難事と惟われた第2次の東館増床計画(162床)への融資の決定通知が届いたのだった。本計画に謳った「救急医療や在宅医療など地域医療の更なる充実に向けて」の趣旨に、大いなる賛意を伴った決定であった。

この資金の一部を充当して計画地の隣地を購入するが、財務内容は、相変わず好転できず、第1次増床で拍車の掛かった逼迫する資金繰りは、いつも暗雲が漂う状況にあった。この苦境を冷静に勘案すれば、躊躇して当然、ある意味、無謀と言っても過言ではない実行計画だった。この無謀とも云うべき難事へと駆り立てる熱源とは、果たして何だったのか。吹き荒れる内憂外患の嵐にも真向かう疲れを知らない原動力とは、何だったのか。それは、紛れも無く、博愛会創設の意志でもあった「もっと質の高い医療サービスを患者さんや地域へ提供したい。患者主権の病院を目

指したい」との希いの丈であった。

同年4月、満を持して東館建築委員会を発足するが、機能向上を目論むこの拡張工事には、最後に大きな難問が横たわっていた。それは、敷地内に建つ事務所棟の解体だった。病院の東側には、事務所、医局、薬品倉庫などを配した2階建ての木造家屋が建っていた。旧院長宅を活用すると云う将に資金不足を露呈した苦肉の建物であった。この家屋は、着工時に取り壊さなければならず、建設期間中、代替の建物が必要不可欠であった。自前の敷地には、全く余裕がなく外部での用立てが急務だった。運用上からも限りなく病院の近隣が望ましく候補地の選定範囲は限られていた。

病院玄関の眼前に、道路を隔てた広い遊休地があった。現在、ウエルネス笹丘が入居するMJRマンションの在り地である。往時、この敷地は、笹丘K幼稚園の運動場と地続きで、柵柵に囲まれて雑草が背丈を競い合っていた。候補地は、ここに定めるしかなかった。再び、医療への希いを知ってもらふ交渉に挑まなければならなかった。

そんなK幼稚園の園長にD神父がおられた。D神父が体調を崩された折、往診の依頼を快く応需していた経緯もあって、随分と好意を持っておられた。敷地の借用と簡易建物の建築を懇願してみた。D神父は、教会本部への打診を快諾

された。この時、初めて、敷地の所有者であり、その権限が聖Aカトリック教会にある事実を知らされたのだった。

教会の所有する不動産など宗教法人の財産は、公益法人としての寄付行為に基づいており、それらの貸借や処分には、その他、厳格な手続きを必要とすることを知らされた。不動産業を営まれている信者さんを介して、教会本部に出向いての嘆願を繰り返した。幾度となく公開の聴聞会が開催され、申し入れの理由を質す問答が繰り返された。博愛会設立の経緯やこの東館建設が地域医療の充実の為に必要であることを繰り返し強調した。顧みれば、この格好の代替用地が、教会の所有地だったからこそ本計画への理解を戴き、この一方的な申し入れが成就したと思われる。この成就が、新たな博愛会へ、そして現在の博愛会へと繋がってゆくのである。何か、神懸りのような命運を感じずにいられない。

86年7月18日、更なる向上を目指して東館(162床)が着工の運びとなった。夏草を刈り取った借地に建つ簡易建築の屋根を真夏の太陽が焦がしていた。1階には、施工を依頼したT建設の建築事務所が、2階には、事務所や医局が配置された。上昇気流に湧き立つ積乱雲が、また新たな希望や不安を混淆しながら未知の夏空に限りなく広がっていた。 ~続く~



tulip

『特定健診・特定保健指導』始まりました。

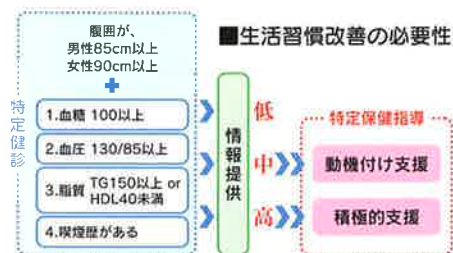
平成20年4月に、『特定健診・特定保健指導』制度が始まりました。これにより医療保険者(健康保険証を発行するところ)は、40歳から74歳までの被保険者・被扶養者を対象に、内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)に着目した『特定健診』と、その結果に応じ、生活習慣の改善を目的とした『特定保健指導』を実施することが義務付けられました。

これまでの健康診断は、「病気の早期発見・早期治療」を目的としていました。しかし、特定健康

診査(特定健診)は、内臓脂肪型肥満に着目した、生活習慣病予防のための保健指導を必要とする人を選び出すための健診になり、検査項目にも内臓脂肪の蓄積状態をみるために腹囲の計測が追加されるなど、大幅に変更されました。

その結果(リスク要因の数に着目して)をもとに、医療保険者が、「情報提供」・「動機付け支援」・「積極的支援」と対象者の選定(階層化)を行い、『特定保健指導』を行います。

『動機付け支援』となった方は、生活習慣を見



直すきっかけづくりを保健師による面談(1回)でお手伝いをします。『積極的支援』となった方は、約6ヵ月間、生活習慣改善に加え、健康づくりのサポートを行います。

次回、特定保健指導の内容について掲載いたします。

編集後記……

深まりゆく秋。涼しさも日に日に増して、過ごしやすいつもりになってきました。長くなってきた夜の時間は、ゆったり読書をするのもよし、月を眺めて気持ちを癒すのもいいですね。最近では『メタボリック対策!』という文字を多く見かけますが、まさに今は運動にも最適な季節。旬な秋の味覚を堪能したら、適度な運動でさらに健康的に!心も体もリフレッシュされます。そして今回の『博愛夢だより』は約1年ぶりの発行となりました。博愛会ネットワークのサービスを地域の皆さまに伝え、より身近に感じていただけるような誌面づくりを心がけていきたいと財団全体で取り組んでおりますので、今後ともよろしくお願いたします。季節の変わり目、皆さまお身体にはご自愛くださいませ。
総務企画課 中島、水津